

# ななま 1



2013年1月27日(日)

【制作・発行】  
横浜学童保育研究集会  
実行委員会 速報班

題字と写真：六浦子どもホーム

## 実行委員長からごあいさつ

子どもたちにいきいきとした放課後を！ 実行委員長 名越 友昭



本日は第31回横浜学童保育研究集会にご参加いただきありがとうございます。  
今年のテーマは、「子どもたちに、いきいきとした放課後を～ともに育てよう、未来の希望」です。未来の希望である子どもたちをみんなで育て未来に繋げていこうという気持ちでつけました。

研究集会は、毎年、各ブロックから選出された実行委員さんがブロック単位で分科会を運営していましたが、今年はブロック単位ではなく、各ブロックの実行委員が他のブロックの実行委員と協力して分科会の運営をする新しい試みをします。

新しい試みで苦労もありましたが、参加される皆さんに喜ばれるような研修にしよう準備を進めてきました。

全体会では、ドラえもんの声でおなじみの声優・水田わさびさんがご自身の子育てを中心に講演があります。

もしかしたら、ドラえもんの声が聞けるかも・・・

また今年は、全体会、分科会を同じ横浜総合高校で行うことができましたが、横浜総合高校は移転を控えていて、ここで開催できるのは今年がぎりぎりです。学校関係者の皆様、昨年、今年と開催させていただきありがとうございました。

本日、多くの皆様にご参加いただき開催できたことは、誠にうれしい限りです。

この研究集会で体験したことや学んだことを明日からの子育てにお役に立てば幸いです。

## 開会行事

### エイサー はすのみ学童クラブ

昨年の八景小運動会で、4,5年生の「エイサー」を見てとても感動したので、担当の先生に「はすのみで踊りたい」と許可を申し出しましたところ、許可していただける旨の丁寧な手紙とCDをいただきました。

4,5年にリーダーになってもらい、まず3～6年で『平和の集い』へ参加、次に1～6年で『あおぞら谷津ふれあいまつり』に参加させていただきます。

### ダンス 南永田学童クラブ

南永田学童クラブのダンスも今年で6年目となりました。毎

年、OB保護者の方が指導してくださり、子どもたちも「今年は何んな曲で、どんなダンスかな～??」と毎年楽しみにしています。

しかし、大勢の子たちにダンスを教えるのは一筋縄ではいかず、練習中に集中力が切れ遊びだす子、「わかんない」「できない」と文句を言いだす子・・・など、1回の練習で少しずつしか教えられず、「本番まで間に合うのか・・・」と不安になることもありましたが、上の子が下の子に何度も教える姿があったり、OB保護者の熱い指導のおかげで、年々パワーアップした舞台を迎えることができています。

## 全体会講演 子育ては元気のおもちゃ箱

### 講師 水田 わさびさん

「トイレの花子さん」の上岡山大介役で声優デビュー後、2005年4月からリニューアルした「ドラえもん」の声を担当されています。

「わさび」という芸名は、実家の庭に自生していた山葵(わさび)からであることと、本名が読み辛いことから名付けられたとのこと。

家庭では二人の女の子・子わさちゃん(11歳)とわさ子ちゃん(4歳)のお母さんとして、仕事も家庭も忙しく活躍中です。子育てのこと、家族や地域・仲間とのつながりをエピソードを交えてお話しいたします。

【水田わさびさんのブログは、<http://blog.tv.asobi.jp/entries/index/wasadora93/>】



全体会、分科会出席中は、携帯電話は電源を切るか、マナーモードにし通話をご遠慮ください。



### ライブでご意見をおきかせください!!

研究集会の感想、ご意見など、皆様のご意見をメールでお送りください!! (いただいたご意見は連協機関紙「学童保育のななま」で使用させていただくことがあります)

まで(左のQRコードをご利用ください)

### 本部の連絡先

午前中は体育館受付、午後は503教室です。  
080-3404-0394(鈴木携帯)  
090-7234-4195(小森携帯)  
045-662-7244(連協事務所)

# 会場について



午前：全体会  
午後：分科会

入り口はこちら側

連協事務所

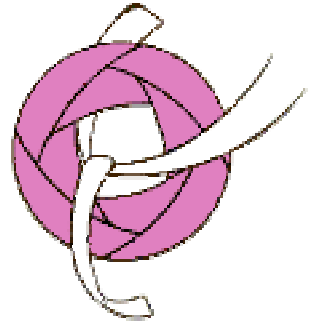
ポートピア横浜



午後：分科会(第9分科会)

野毛山動物園

## 全大会・分科会メイン会場： 横浜総合高校



県内で初めての三部制・単位制による新しいタイプの総合学科高校(定時制)として2002年(平成14年)4月に開校しました。学ぶ時間が午前・午後・夜間と異なる三つの時間帯に展開している総合学科高校です。

校章は「横浜」の頭文字「Y」をデザイン化し、「三つの部」を象徴的に表しています。[Y]をかたどったりボンが風にたなびく姿は、「新風」をイメージし、新しい形の学校を表現しています。

また、横浜市の花であるバラをデザイン化した模様を中心に据え、「Y」を結びあわせることにより、[三部]が統合されている姿を象徴的に表しています。

校歌・「胸がときめくニュースのように」は、往年のフォークアーティスト・杉田二郎さんの作曲によるものです。今回の研究集会で分科会会場としてお借りしたキャンパスですが、2013年(平成25年)8月には関内を離れ南区大岡へ移転することが決定しています。

### 【最寄駅・関内の秘密】

1964年(昭和39年)に開業した京浜東北・根岸線・関内駅は川の上に建てられました。その後埋め立てられ今ではその面影も全く無く、毎日5万人前後の利用者が行き交っています。

### 【編集後記】

今年の研究集会・速報班は、4名体制で3号までの発行を目指します。  
池本(わんぱくハウス・保護者)  
河合(六浦こどもホーム・指導員)  
山口(大正つくしんぼうクラブ・保護者)  
森木(連協・常任役員)  
受付付近や分科会でインタビューにお声がけすることがありますので、ご協力よろしくお願ひします。

